

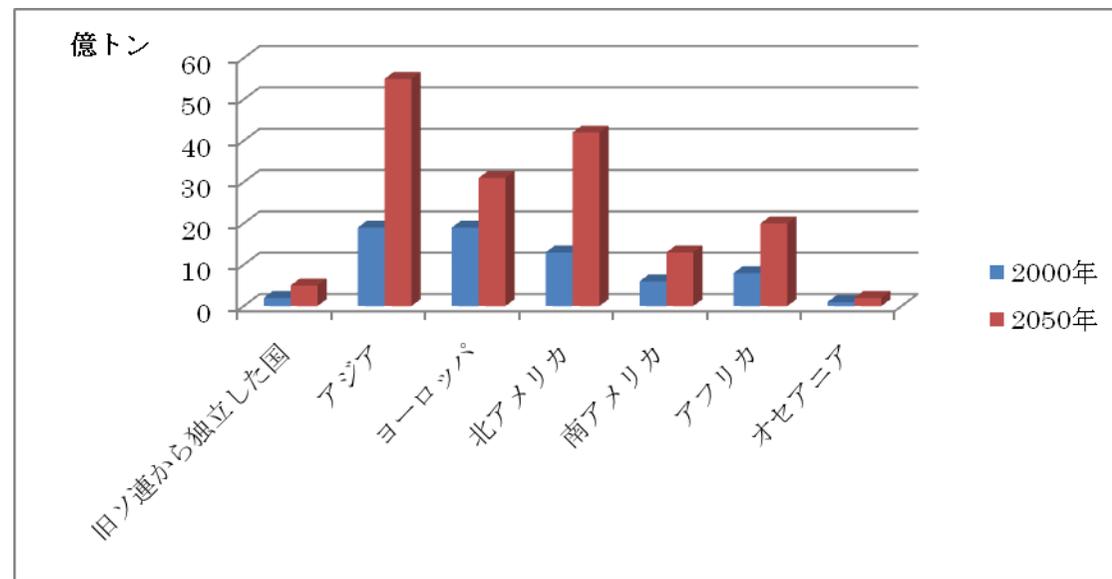
ごみとリサイクル

2000年の世界人口は、約60億人。2050年には約90億人になると仮定して、現在のごみの量から将来の量を予測すると、50年後には2倍近くに増えるという結果になった。世界では、ごみ処理の方法は埋め立てが一般的だが、これだけの量を水や土を汚さずに処分する余地が、地球にあるだろうか。日本では、燃えるごみは焼いてから埋め立てているが、ダイオキシンが発生するなどの問題がある。

大切なことは、リデュース（減量）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源）、リフューズ（いらぬものを断る）の頭文字をとった4Rを徹底し、ごみをできるだけ出さないようなライフスタイルにしていくことだ。

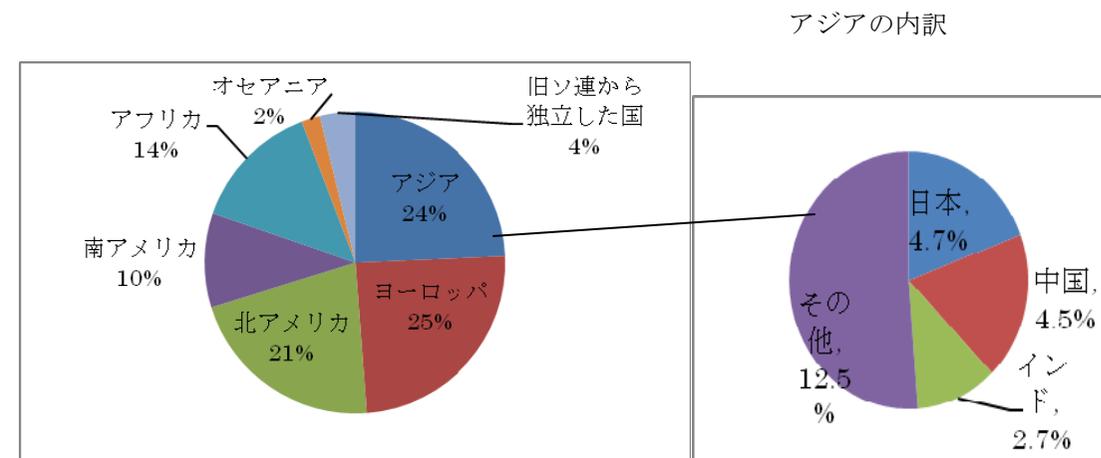
藤田千枝編/新美景子著 『環境の世界地図』 より

資料① 1年間のごみの量（2000年～2050年）



年 組 番 氏名

資料② 2000年のごみの量の割合・・・年間106億トン



資料③ 2050年のごみの量の割合・・・年間188億トン

